



あまいろだより

手づくり市民メディア

vol.47
2021.12.15

コロナ禍の子どもたち

BOOKS

「めきちんのあすすめ本」

講談社ビーシー

『新型コロナ ワクチンよりも大切なこと』 本間真二郎著

著者は医師（七合診療所所長）でアメリカ・NIH（アメリカ国立衛生研究所）出身のウイルスの研究者。ワクチンにすべてを託すのではなく、「免疫力」「抵抗力」「解毒力」を生活のなかで高めるために私たちが見つめ直すこと一厚生労働省などのオープンデータを基に現状を分かりやすく理性的に解説。ワクチンについて考えるために必要な情報が書かれています。

『もやしもん』 石川雅之著 講談社 「いよちんのあすすめマンガ」

菌が見える特殊能力を持つ、もやし（種麹）屋の次男坊、沢木惣右衛門直保。東京の某農大を舞台に、沢木と研究室その他の仲間達、そして菌が活躍したりしなかったりキャンパスライフを描く漫画。あなたもぜひ、かもされてみてください。

Action

高等学校入学生に1人1台のタブレット端末を自費購入させる方針を撤回し、県費負担で実施することを求める要請署名

滋賀県教育委員会は公立高校において来年度入学生からタブレット端末を保護者負担で導入する方針を示しています。その負担は決して軽いものではありません。タブレット端末導入をするとしてもせめて公費での導入を要求する署名です。

県内の私立高校では、使用アプリに制限をつけたタブレットをレンタルして学生に使用させ、卒業とともに返却するという方法をとっているところもあります。
https://t.co/wfU3ApW7GJ



Now ON SALE

何度も洗ってつかえるエコラップ
ミツロウラップ 販売中 !!



オーガニックコットンの生地にミツロウ（たまばん@信楽のニホンミツバチのミツロウ、オーガニックミツロウ）とオーガニックココナッツオイルと松ヤニをいい塩梅にブレンドして、あまいろ探偵団が手づくりしています。（監修 Biwabochi ちまり）

▶取扱店 Base For Rest（東近江）、自家製酵母パンひとつぶ（能登川）、NPO 碧いびわ湖（安土）、自然食品と生活用品の店 hana（草津）、cafe あわいさ（信楽）

▶発送ご希望の方は、あまいろだより FB・インスタにメッセージにてお問い合わせください。（送料別途）

- Sサイズ 13x13cm （半分に切ったリングなどに）
- Mサイズ 20x20cm （お皿に残ったおかずなどに）
- Lサイズ 26x26cm （サンドイッチやおにぎりなどに）
- LLサイズ 28x40cm、36x36cm （キャベツ半分などに）



あまいろだより(天色便り)第47号
特集/コロナ禍の子どもたち
編集/あまいろ探偵団
(北岡七夏・志董未来・中野和子・藤井朋子・森優子)
表紙タイトルロゴ/岸田知之
発行日/2021年12月15日
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖
~大切なことを他人まかせにしない、自分たちで力をあわせてつくる~
TEL 0748-46-4551 FAX -46-4550
Eメール info@aobiwako.org
ブログ http://aobiwako.shiga-saku.net/
びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを
使用しています(びわ湖の森の間伐材活用) **kikito**

コロナ禍の子どもたち

ぐるぐる渦巻くコロナ禍の世界
子どもたちの暮らしもぐるぐるぐるぐる
まるでぐるぐる巻き

しんせんなくうきがすいたいなあ
ともだちとわいわいあそびたいなあ
おしゃべりしながらごはんたべたいなあ
今の子どもたちの生活、どう思う？
学校の先生と保護者で
気になることを話し合いました



まっさん
公立小学校の教諭。
好きな食べ物は甘酒
スイーツ。

ひよ
アースキッチンたま
や主宰。小中学生の
母。好きな食べ物は、
栗を使ったおやつ。

みぎ
あまいろ探偵団。
小中学生の母。好き
な食べ物はお寿司。

りえ
公立小学校の教諭。
好きな食べ物は甘い
もの。

ともこ
あまいろ探偵団。
幼稚園、小学生の
母。好きな食べ物
はおでんの大根。



ゆうこ
あまいろ探偵団。
小中学生の母。
好きな食べ物は
グラタン。

学校の現状

あまいる(以下あ) コロナ禍で、学校ではコロナ感染予防を優先してここまで来ました。現在進行形のごで答えがある話ではないと思うんですけど、今日は保護者と現場の先生という立場で色々お話しできたらいいなと思っています。まず各学校の現状を聞かせてもらえますか。



りえ先生(以下りえ) うちは結構厳しいと思います。コロナが始まってからずっと休みがない。手洗い読書タイムって呼んで外に行かない。他のクラスの子とも接触しない。昼休み遊ぶのもクラス単位。体育も本来二クラスでやるんだけど、今は一クラスずつです。あとはマスク、手洗いは徹底。で、九月の緊急事態宣言の時には教育委員会が教育現場に何の相談もなく、アクリルのパーテーションを各机につけてますって一斉メールで保護者に宣言しちゃって。



ゆうこ 結局、緊急事態宣言が終わってからの届いたんやんね。で、来てからつけてる？

りえ 最初ずっとつけてたんやけど、教員のなかでももう緊急事態明けてるやんってことになって。給食とリコーダーとピアノ力を弾く時だけにしよう、そのうちやめていこうって話にはなってます。

みぎ 子どもの方からもアクリル板があると光が反射して見えにくいみたい。



りえ 一年生なんかあれをつけるだけで十分くらいかかるし。給食の時に拭いて除菌するんだけど、一年生は床に置いて拭いてやったりして、これは本当に除菌してるのか？っていう。

まっさん先生(以下まっさん) うちも似た感じですよ。パーテーションはすべての教科でつけてました。今はつけていません。マスクはしてんですけど、外でマスクを外して遊んでる子はほほいしないでね。



子どもとマスク

あ マスクについてどう思いますか？子どもたちのコミュニケーション上、同級生の顔が半分見えない状態で何年も過ごして、今後子どもたちはどんなふうな表情を読み取ったりしていくんだろうってすごく心配になります。

りえ マスクをしてると目だけで表情を読み取るしかないから、こう思ってるんじゃないかな？って疑問暗鬼になって、トラブルになったりもしてる。

まっさん 僕は体育とか外で遊ぶときは「マ

スク外したかったら外しやー」って言うんです。で、マスク外した友達を見て「あ、こんな顔やったんや」っていう子がいて。

りえ 今二年生の子は、入学した年からずっとマスクやから、学校で初めましての友達は顔がわからないってことがあるよ。

まっさん 休み時間に子どもたちと遊んで暑かったからマスク外して休憩してたんですよ。そしたら通りかかった子がハッと見て「うわ！マスクしてない！離れいや、この人から！」って言って。「あーごめんごめん」って離れたんですけど、シヨックで。その子は全然悪くないんですよ。ただコロナ対策として子どもたちに伝えてきた結果がこういう形になるやんやと思って。マスクをしてないってだけで、健康な人に対して「菌持つとるで」って言う、この子をそうしてしまっただけで、マスクをしなくない子もいて、その子はもうしないですね。「気持ち悪い！」とか言ってパーって外すんですよ。そしたら「マスクしてない！」って周りに言われて、注意されるが増えてイライラが増えるって感じがするね。

あ すごくストレスがかかっているやんや。まっさん 以前、担任してた子どもたちに意見を聞いたことがあるんですけど、「学校でコロナがないのやったらマスクは自由でいいと思う。選んだらいいやん」って言う子がいる一方で、「政府が決めることを守らへんから減らない。もっと制限を強めた方がいいと思う」って言う子もいたりして、それぞれの思いがあって面白いなあと。それで思ったんですよ、子どもたちの素の思いを普段だけ聞いているのかなあって。だからもっと聞こうと思って「マスクなんですか？先生に怒られるから？みんながしてるから？本当に意味がわかってる？」とかいろいろ聞いたんですけど、先生に怒られるから、みんながしてるから、は多くて、意味わかってるって言うのは数人です。

あ そうなんや。

りえ うちの学校では帰り道、長い距離歩くからマスクを取ってやる子もいて。それで「着けなアカンやん！」って言われてトラブルになって。トラブルになった方がええで、と私は思うんやけど。そのお陰でうちのクラスは、「じゃあなんで着けなアカンのかな？なんで着けない子は着けへんのかな？」とか一緒に考えるきっかけになったから。その結果、どうするか選択するのは自由なんやなってなりました。クラスの中でも着けにくい子がいるんやけど、その子に対していつも着けいやって言っていた子が言わへんようにならなりました。

このままでええのん？

あ 他に気がかりなことはありますか？

りえ ちょっと怖いなって思ってるのが、去年の緊急事態宣言で急に登校禁止が決まって、教育の現場に当然かのように政治の介入があったなって思うんやけど、その辺からちょこちょこ介入が増えてきたような。マスクの事とかパーテーションの事とか。教員の中にもそれに対して今コロナやし仕方ないか、みたいな雰囲気が出てるなと思って。

ともこ 教育委員会から何か降りてきてそれがスツと通って行く感じも怖いしな。自分で一旦考えるというのをしたいよなあ。



りえ 今、子ども一人にタブレット一台導入してやってるでしょ。その件でも「設置してこういう授業やります！」って言われてるけど、いやいや教員に対する研修が無いやんや。それで今度は突然、公立校に通う高校生は各家庭で購入してくださって話が出てきたでしょ。他府県で署名が集まって撤回しはったって例もあるけど。

あ へえ！そうなんや！

まっさん タブレットは曲者ですよ。リテラシーを学んでないのにツールだけ与えられて。子どもはいじくる天才やからどんなにくんですよ。

りえ 授業中にチャットやってトラブルがあったとか。

ともこ 急に休校になっても在宅で授業できるよになって、タブレットを使う機会はぐんと増えたよ。

みぎ でも子どもの時期って体験することがほんまに大事やと思うのに、動画見てわかった気になってるっていうのはすごく残念やなと思う。

まっさん そうそう。

みぎ 他の学年の子たちとの交流もなくなってるし。

ひよ 中学校の職業体験がなくなってる残念。あれいい体験やなって思ってたのに。多感な年頃に体育祭とか文化祭とか全部なくなっていくやんか。ほんまやたら一緒にガーター作り上げていくことを体験してガシって仲良くなっていくのに。

りえ あと、教育委員会から「ワクチンの接種率が上がってきて感染者数も減ってきました。十二歳以上の子どもの接種率も上がってきてます」みたいな一斉メールが保護者宛に出て、なんでこんなメール流すねんって思った。教育委員会から来た打たなアカンのかなと思う人いっぱいいるや

んって思ってる。

まっさん 六年生はぼつぼつ打ってて。若年層への接種は日本小児科学会も「ちゃんと話し合って強制じゃなく任意で」って言うんですけど、判断するための情報をどれぐらいいてるんかな。ワクチン打った後の中長期的な影響って分かってないことが多いじゃないですか。この間、厚生労働省があげてる情報を見たら十代でワクチン接種後亡くなった人数が三人やあって、コロナで亡くなったとされる子も三人やっただけですよ。(二〇二一年十一月現在) ワクチンを打つことのメリットデメリットってどうなん？って。

みぎ そうやんね。だから子どもにとっではコロナ自体が致命率も重症化率も低くてそんなに怖い病気じゃないっていう現状と、あと大事なのは前向きにどうするっていう手段がワクチン以外にあるっていうことを伝えてあげるのがいいのかなと思ったり。

まっさん 役所とか県庁、あと文科省も全部言うのはあくまで「推奨」なんです。本来強制ではないはずなのに現場では強制みたいになってしまってる。

ともこ 大人にとってもこれまでに経験のない事態で結論が出ていない状況のはずなのに、とにかくクラスターを出さないために、学校で統一した対策で子どもに接することになってしまってる。

みぎ そうやね。ただ現状と照らし合わせてみるとすごい疑問なんやけど、コロナが今現在も二類感染症相当に分類されてる以上、学校としても対策を迫られてしまってるんじゃないかなと思う。

これからどうしていきたい？

まっさん 子どもたちのために何ができるんや。僕はマスクもワクチンも子どもが自由に選べるようにしてほしい。

ともこ ほんまは学校ごとに規模も違うし地域性もあるし、いろんな声があるから学校ごとの判断があつていいと思うんです。先生たちの考え方もあるし。先生と保護者が意見を話せる機会がないこと、すごく違和感がある。本来その場に関わる人で、「どうしましょう？」ということが、「こっしましょう」で上からおりてくる。今後学校の中で子どもたちの生活をどんなふうにしていく時に、保護者としても「ずつとマスクしていることが心配です」とか言うていきたいなって思ったり。地域地域、学校学校でもつとそういうことがあつてええんちゃうかなって思うんですけど、どうですか？

まっさん その通りです。

ともこ そのプロセスって時間がかかるし、大変かも知れへんけど、それをやるところを子どもが見てる。そういうことが大事なんちゃうって思ったりする。

ひよ 今は先生たちがすごい細かいことでも説明の電話をくればって、大変やうなって思っこともある。あと、小さい声に合わせることは大事にせなアカンけど、それに応じて一斉一律にこうしましょうということが多くなってるのかなとか感じてる。

りえ 多分合わせた方が学校的には楽なことがあるんやと思う。でも私は子どもを真ん中にして繋がってる者同士しゃべりたいなって思う。こういう意見もあるし、こんな意見もあるって。じゃあどうする？ってしゃべることが多分一番いいことやと思う。そういう自由な時間を取ることが難しくなってるっていうことが問題やなって思う。だってコロナが怖いって思うのも自由やし、マスクしたくないって思うのも自由やし。選択肢があるって言うのがすごく大事で、選択肢があるって言うのを認め合っっていうのが大事。

ともこ ほんとにその通りだと思います。

まっさん あとね、日々感染症対策をしないとほんとにやばいって言うのは、子どもたちの自尊心を下げてると思うんですよ。元々みんなお母さんからもらったね、戦う免疫とかあるじゃないですか。そのことを学校では触れへん。手には常在菌もいて、これが体を守ってくれてるのに、アルコールで消毒しましょうとか教えない。熱が上がるって実は免疫の成果なんやとか、鼻水咳つてめっちゃ大事な免疫力の反応やっという、何もなくてもそもそも自分が持つてるものがいかにいいものかっていうことに全然焦点が行かへん。自分は何にもできなくて、マスクとかワクチンとかで対策せなアカンって教育では、自分のことから信じられへん感じがします。

ゆうこ ほんまやね。それにウイルスって元々宿主がいないと生きられへん生き物やから、絶対人と共存しようとするはずやねん。だんだん弱くなって人の体で住めるようになっていくはずやから。免疫の事を思ったら。

りえ 子どもは鼻水垂らして、咳して、毎日この時期は鼻水垂らして、咳して、

暮らしのコラム

腑に落ちないんです。

村木 奈々子

自然(じねん)派生活者



今、子どもたちは、マスクやワクチンを強要するコロナ感染防止対策をどう感じているのかな？

体育祭でもマスクして走り、給食は黙食、緊急事態宣言で大切な行事が簡単になくなり、貴重な経験の機会が失われ、ソーシャルディスタンスって言われてもな…。それって子どもたちのため？「ワクチンには感染予防効果はない」「マスクの科学的根拠は明らかでない」「屋外でのマスク着用は必要ない」と厚生労働省が明言しているにも関わらず、なぜか、どこ行くにもマ

スク着用を強要され、ワクチン打ってないと後ろめたい気持ちになる社会になった。周りの目を気にして、世のため人のためにワクチンを打つ時代が来て、自分の身体のことを自分で決める自由が脅かされていると感じています。しかも新型コロナワクチンは未だ試験中の人類初の遺伝子ワクチンだというのに。

本来、人間には生き物としての力、自然免疫力があり、体の内外にウオウヨいる微生物と共生しながら、力強く生きています。本当の感染予防は生き生きと健やかに生きて、免疫力を高めることではないのかな。今の感染防止対策は生き物としての人間の力をあまりにも過小評価して、免疫力を削ぎ落としていくような気がします。

子どもたちが、大人社会のしがらみや、ことなかれ主義や、いろんな思惑や金儲けの犠牲になっていないか、目を見開いていたい。PCR検査陽性者数=感染者数っておかしくない？

無症状感染なんてあるの？マスクってほんとに必要？ずっとワクチン打ち続けるの？これってパンデミック？マスコミ、ほんとのこと言ってる？命のことを話題にするのはほんとにデリケートで難しいけれど、コロナ禍と言われる状況が長引き、不自然なことがまかり通り、人が監視、干渉し合う社会はいやなので、それって変じゃない？と一緒に考えたいのです。

マスク着用やワクチン接種は個人の自由やん？ぐらいいの緩いという世の中じゃないとちょっとヤバいと思ってますが、買い物や仕事行く時はノーマスクで行く勇気がないので、悶々とする日々です。そんな中「コロナ禍の子どもの命と尊厳を守る会・滋賀」の皆さんと一緒に県や市、教育委員会などに働きかけたり、勉強会やっています。よかったら一緒に～！



「コロナ禍の子どもの命と尊厳を守る会・滋賀」HP